

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成29年6月13日

計画の名称	北方町における循環のみちの実現									
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）			交付対象	北方町					
計画の目標	下水道施設の改築及び整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標（定量的指標）	① 下水処理場における長寿命化計画策定率を0%（H24）から100%（H28）に増加させる。 ② 下水処理場における施設改築率を0%（H24）から100%（H28）に増加させる。 ③ 下水道による管渠施設の整備率を96%から100%（H28）に増加させる。 ④ 下水処理場の耐震診断を現在の0%（H25）から100%（H28）に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)				
① 下水処理場における長寿命化計画策定率	長寿命化計画策定済みの下水処理場数 / 長寿命化計画を策定すべき下水処理場数			0%	100%	100%				
② 下水処理場における施設改築率	改築済み施設数 / 改築が必要な施設数			0%	50%	100%				
③ 下水道による管渠施設の整備率	整備完了済み面積 (ha) / 下水道整備を必要とする事業計画区域面積 (ha)			96%	98%	100%				
④ 下水処理場における耐震診断率	診断済み施設数 / 診断が必要な施設数			0%	17%	100%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	486百万円 317.58百万円	A	479百万円 311.27百万円	B	0百万円	C	7百万円 6.31百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.4% 1.99%
上段：計画 下段：実績（小数第3位を四捨五入）										

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
・北方町役場 上下水道課にて実施。	・計画の期間の終了前 公表の方法 ・北方町ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											上段：計画 下段：実績（小数第3位を四捨五入）						
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
1. 北方処理区																	
A1-1-1	下水道	一般	北方町	直接	北方町	水処理・汚泥処理	改築	長寿命化計画策定（処理場）	計画・調査	北方町						6 5.34	長寿命化
A1-1-2	下水道	一般	北方町	直接	北方町	水処理	改築	ふれあい水センター水処理施設	曝気攪拌機等	北方町						141 110.95	長寿命化
A1-1-3	下水道	一般	北方町	直接	北方町	汚泥処理	改築	ふれあい水センター汚泥処理施設	汚泥脱水機等	北方町						141 19.74	長寿命化
A1-1-4	下水道	一般	北方町	直接	北方町		全種	効率的な事業実施のための検討等	調査検討資料作成一式	北方町						17 28.83	
A1-1-5	下水道	一般	北方町	間接	北方町	汚水	新設	高屋西部地区面整備（未普及解消）	φ=200mm, L=3.2km, A=16ha	北方町						114 114.44	
A1-1-6	下水道	一般	北方町	直接	北方町	水処理・汚泥処理	改築	ふれあい水センター耐震診断	調査・診断	北方町						60 31.97	
合計																479 311.27	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

C 効果促進事業				上段：計画 下段：実績（小数第3位を四捨五入）												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
北方処理区																
C-1-1	下水道	一般	北方町	直接	北方町	新設	高屋西部地区支線整備（未普及解消）	φ150mm L=81m	北方町						7	
													6.31			
													7			
合計													6.31			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C-1-1	基幹事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		①下水処理場における長寿命化計画策定率を0%（H24）から100%（H28）に増加させる。 ②下水処理場における施設改築率を0%（H24）から100%（H28）に増加させる。 ③下水道による管渠施設の整備率を96%から100%（H28）に増加させる。 ④下水処理場の耐震診断を現在の0%（H25）から100%（H28）に増加させる。													
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水処理場における長寿命化計画策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	目的は達成された。										
		最終実績値	100%												
	指標②（下水道処理場における施設改築率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	下水道処理場における施設改築率は、運転管理との調整により進捗が遅れ、1期設計のみ5割の達成率であった。 1期設計/1期設計+2期設計=50% 1期設計改築率：24施設/24施設=100% 50%×100%=50%										
		最終実績値	50%												
	指標③（下水道による管渠施設の整備率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	下水道による管渠施設の整備率（供用開始面積とは別）は、区画整理事業の進捗状況等により整備を進めたため。 403.8ha/406.8ha=99.26%										
		最終実績値	99%												
	指標④（下水処理場の耐震診断進捗率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	下水処理場の耐震診断進捗率は、施設改築との調整により進捗が遅れ、4割の達成率であった。（管理棟及び機械棟については実施済） 4施設/10施設=40.0%										
		最終実績値	40%												
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）															

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・長寿命化計画に基づく電気設備の更新を引き続き進めていきます。
- ・ふれあい水センターの耐震診断を引き続き進めていきます。
- ・区画整理事業に伴う面整備について引き続き整備を進めていきます。
- ・公共下水道の整備済面積の拡大に伴い、水洗化の向上に取り組み効率的な整備等を検討していきます。